

福岡県の交通安全県民運動に合わせて交通事故防止を啓発

～事故防止啓発チラシを配布し、反射材の必要性を周知～

日本損害保険協会 九州支部（委員長：大塚 竜二 東京海上日動火災保険株式会社 専務執行役員）では、年末の交通安全県民運動の期間に合わせたイベントに参加し、夕方の運転時の早めのライト点灯や歩行時の反射材着用の促進などを周知しました。

「年末の交通安全県民運動」の実施主体である「交通事故をなくす福岡県県民運動本部」に参画する当支部では、これまでも飲酒運転撲滅をはじめとした交通事故防止に関する啓発活動等に協力してまいりました。

今回、「年末の交通安全県民運動（12月11日～31日）」の一環として12月16日に福岡市中央区の福岡銀行本店前広場において、歌手・レーサーなどマルチに活躍する近藤真彦さんの福岡県警察本部一日交通部長の任命式が行われ、早速、近藤交通部長からは、「地域から1人も交通事故で悲しい思いをしないような地域づくりをしたい」と強い意気込みのもと、保育園児たちに反射材を贈呈し、交通事故防止の呼びかけなどが実施されました。

イベントに合わせて、県警とともに当支部では事故防止チラシとともに反射材を配付し、夕暮れ時以降の交通事故防止への注意を呼び掛けました。

当支部では、引き続き交通事故防止に係る啓発活動を県、県警、各社、代協等と連携して進めてまいります。



一日署長の近藤真彦さん



チラシを配布する支部職員